

令和3年度 環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果報告会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	
昨年度までの“環境整備”を経て、今年度より事業化に取り組む	
昨年度までの“環境整備”と“支援チーム派遣（事業化支援）”を受けて引き続き事業化に取り組む	

活動団体名：余市町観光地域づくり協議会

活動地域：余市町

活動におけるテーマ・キャッチコピー

『サステイナブルツーリズムによる地域SDGsの推進』

余市町観光地域づくり協議会

一社) 余市観光協会

⇒ 全体統括、事務

<https://yoichi-kankoukyoukai.com/>



JAよいち

⇒ 各種情報提供、研修講師等

<https://www.ja-yoichi.or.jp>



余市町役場

⇒ 各種情報提供、
研修講師、
施設利用等

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>



特非) 北海道エコビレッジ 推進プロジェクト

⇒ 研修の企画・運営・
コーディネート

<http://ecovillage.greenwebs.net/>



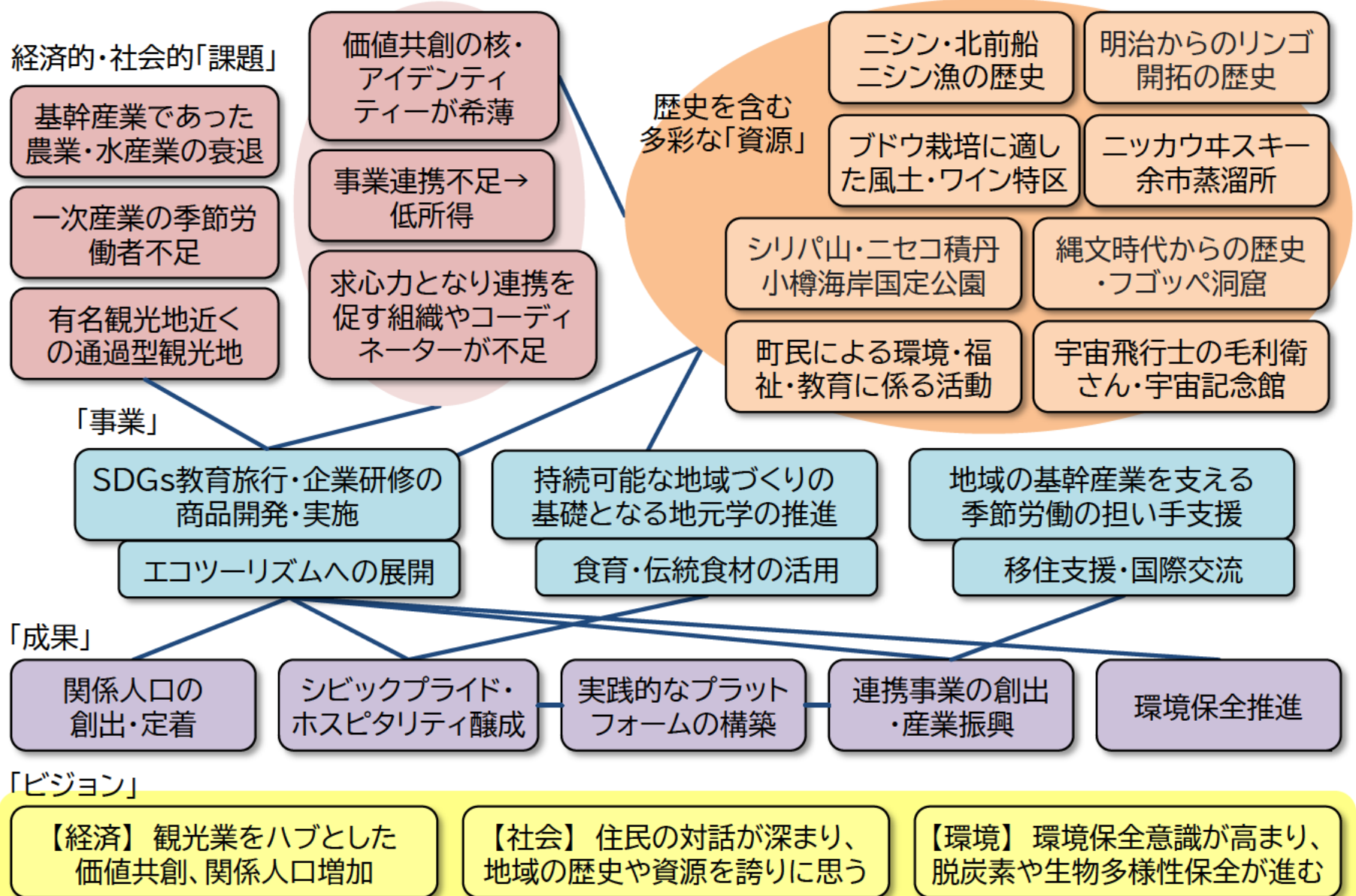
余市町漁業協同組合

⇒ 各種情報提供、研修講師等

<https://www.yoichigyokyo.com/>



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



①SDGs研修ツアー



モニターツアー
7/2, 7/14



ガイド要請講座
9/20



地産弁当の試作

③プラットフォーム体制づくり



各種専門家との 検討会、ヒアリング

- ・ 役場
- ・ 地元生産者
- ・ 飲食店
- ・ 旅行業
- ・ 教育関係者
- ・ 海の専門家
- ・ 森の専門家
- ・ 小規模ワイナリー

②地元学（調査・検討）



シリパ山調査
8/31



余市りんご
研究会 1/19



食育研究会
1/26

取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

事業実施前

余市町観光地域づくり協議会
(役場・観光協会・JA・漁協・NPO)

生産者・ワイナリー

飲食店・旅館

旅行代理店

単発な連携で、
各分野のつながりが薄い

事業実施後

飲食店・旅館
(地産弁当の提供)

生産者
(SDGs研修の受入)

文化施設
(SDGs研修の受入)

協議会

旅行代理店
(SDGs研修アドバイザー)

北海道博物館
(SDGs研修教材支援)

北海道大学
酪農学園大学
(SDGs研修支援)

地域内連携

地元高校
(SDGs研修の実施)

青年会議所
(地元学の支援)

環境保全
経済循環
地域交流

専門家・ツアーガイド
(SDGs研修講師)

環境NPO・企業
(SDGs研修教材支援)

地域外連携

①SDGs研修/地域の資源活用・課題解決

- ・ **大規模（200人）旅行のノウハウの不足**
→旅行会社と協力した情報整理・受け入れの整備
- ・ **ガイド・インタープリターの育成**

②地元学/アイデンティティ・シビックプライドの醸成

- ・ **地元住民への情報提供、交流の機会の不足**
- ・ **財源確保**
→役場（社会教育課）、青年会議所、PTAその他地域団体との連携

③一次産業活性化/担い手と関係人口の同時拡大

- ・ **労働需要が不安定（季節限定）**
→マッチングの仕組みを整備
- ・ **求人情報、住居・住宅情報の不足**
→公的機関（役場・農協等）の連携、
企業との協働（テレワーク・兼業・副業・プロボノ・研修）

今後の展望

①SDGs研修のブラッシュアップ

- ・プログラム教材開発
- ・地域内外のネットワーク強化
(周辺市町村との広域連携・旅行業など異分野との連携)



②地元学の勉強会開催

- ・地域資源の掘り下げ、磨き上げ
- ・地域住民の共通価値・協働意識の醸成
→地域プラットフォームへの巻き込みを期待

